

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日: 2023年 1月 19日

事業所名: こどもプラス小野教室

サービス種類: (例: 児童発達支援、放課後等デイサービス)

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	・確保出来ている ・こどもの動きによっては少し窮屈に感じることもある ・こどもの年齢が上がり、体の成長とともに窮屈に感じることもある		・こどもの人数や状態などに応じてスペースを区切ったり、活動内容を変更しながら安全で楽しく過ごせるように工夫していく。
	2 職員の適切な配置	・適切な人員配置を行っている		・今後も引き続き、適切な配置をしていく
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	・数か所に段差がある ・気が散りやすい児童がいるので提示物は必要最小限にしている		・今後子どもによって必要であれば可能な限りでバリアフリー化も検討する
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	・毎日の清掃・消毒を徹底している ・その都度こどもに合わせて環境設定を行っている。		・こどもの状態に合わせてその都度怪我無く安全に過ごすことのできるよう工夫を行っていく
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	・それぞれの子どもに合わせた目標設定をし、業務前に伝達、業務後振り返りをおこなっている ・月1回職員ミーティングを行っている ・情報共有のため、伝達ノートを作り、職員全員が把握できるように努めている。		・今後も現状に満足することなく、研鑽に努めていく
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施			
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	・コロナ渦のため、外部研修は参加していない ・定期的に内部研修を行っている ・参加出来なかった職員への報告を行っている		・今後も積極的に、研修の機会を取り入れていく ・職員間で、情報共有をしていく
業務改善	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	・保護者とのアセスメントに加え、他機関でのアセスメントの結果も踏まえて個別の支援計画を作成している		・今後もそれぞれの状態やニーズに沿った計画を作成するために丁寧なアセスメントを行っていく
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	・個別に支援計画を作成した上でそれぞれに合わせた支援を行っている ・毎日集団活動として、運動あそびを行っている ・個別課題に取り組むチャレンジタイムを行っている		・運動あそびに限らず、土祝などのイベントなどでも集団活動を積極的にとり入れていく ・新型コロナかんせん予防に配慮しながら集団活動をしていく ・生活面・学習面での個別課題に取り組んでいく
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	・個別支援計画で各児童の課題・目標の設定を行い、具体的な支援内容を定め、記載している		・今後もそういった記載を徹底していく
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	・各児童発達支援計画に沿って適切に支援している		・今後も適切な支援をおこなっていく
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	・全体の意見を取り入れながら適切な支援を行っている		・今後も全体の意見も取り入れながら支援を行っていく ・意見を出しやすい環境を整えながら、チームで活動して行けるよう努める ・活動を振り返り、見直し、改善をしていく
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	・イベントを実施する等しながら適切な支援を行っている		・休日などはサービス提供時間も長くなるので、長期休暇などはさらに丁寧かつ適切な支援を意識し、実施していく ・子どもたちが楽しく通えるよう心がけていく
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	・土曜祝日などに毎回イベントを計画し、実施している ・平日には安心して過ごすことが出来るようタイムスケジュールは固定し、運動遊びなどの内容をその都度利用児童に合わせて計画している	・コロナ渦で制限されていると思う	・感染症対策をしながら色々な活動を取り入れていく ・今後も利用児童の安心、安全を最優先に考え、活動内容を決定していく ・長期休暇などにはイベントを積極的に取り入れていく
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	・毎日その日の利用児童、それに合わせた活動内容とその役割分担、また送迎の確認などを行っている ・ホワイトボードに書き込みをし、確認できるようにしている。		・現在も行ってはいるが、今後も引き続き、支援内容、役割分担の確認を徹底していく ・職員間の連絡、共有をしっかりと行う
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	・サービス提供時間終了後、その日の子どもの様子や連絡事項について情報提供を行っている ・職員連絡ノートを活用し、情報共有をしている		・今後も引き続き、情報共有の徹底に努めていく
	10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	・全体での児童活動日誌、個別支援記録の記入を徹底し、その都度必要に応じて支援内容の検証・改善を行う		・記録等の記入に関しては、今後も細心の注意を払いながら行っていく ・また支援の検証・改善に関しても職員間での情報共有を徹底し、必要な支援が行えるよう努めていく
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	・少なくとも、半年に一度モニタリングを行い、計画の見直しを行っている		・今後も定期的にモニタリングを行い、必要に応じて計画の見直しを行っていく
	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	・児童発達支援管理責任者が担当会議に参加している		・今後も児童発達管理責任者によるサービス担当者会議への参画を行っていく ・他機関との連携を充実させ、支援を深めていく
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	・現在対象児童なし		・今後そのような児童の利用がある際には関係機関と連携しながら支援を進めていく
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	・現在対象児童なし		・今後そのような児童の利用がある際には協力医療機関等との連絡体制を整備していく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間で支援内容等の十分な情報共有	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談事務所を通じての情報提供は行っている</li> <li>特別支援学校との間で、児童の様子を把握し、情報提供するために、連絡帳の相互閲覧を行っている</li> <li>学校、他事業所と、直接の情報提供を行っている</li> <li>個別支援会議へ参加している</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も利用児童によって必要であれば各関係機関との直接の情報提供を行っていく</li> <li>個別支援会議に参加していく</li> </ul>
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在までにそのようなケースがない</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>現在利用中の児童がそういったサービスに移行していく事を考慮しながら支援を継続していく</li> </ul>
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じて情報提供や連携を行うようにしている</li> <li>現在の所そのような研修の機会があまりない</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>今後、そのような研修の機会をさらに増やしていく</li> </ul>
	7	児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>土祝のイベントで地域の児童館や公園などへ出かけることがある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍で仕方ないと思う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後必要に応じて、そのような機会も増やしていく</li> </ul>
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在の所、そのような行事は行っていない</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>今後保護者、また地域からの要望などがあれば検討していきたい</li> </ul>
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>重要事項説明書や契約書に明記した上で、契約時に丁寧に説明を行っている</li> <li>保護者から質問があればその都度説明している</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も漏れの無いように、契約時などの丁寧な説明を行っていく</li> </ul>
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎回児童発達支援管理責任者によって計画内容を示しながら支援内容の説明を行っている</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も保護者にとって分かりやすく丁寧に説明するように努めていく</li> </ul>
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在は行っていない</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>今後保護者会や他の機会を利用し行っていく事を検討中</li> </ul>
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>連絡帳、電話連絡、また送迎時の対話などによってできる限り情報共有できるように努めている</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、その日の状態や今後の支援の方向性などを示しながら情報共有に努めていく</li> </ul>
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>その都度相談を受け対応している</li> <li>その場での対応が難しいものに関しては持ち帰り、スタッフで相談のうえで助言等を行っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>とても頼りにしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も職員一同で丁寧かつ適切な対応を心がけていく</li> <li>また、職員間での情報共有も引き続き徹底していく</li> </ul>
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在までに2回行っている</li> <li>今年度はコロナの影響で行えていない</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も計画していきたいが、コロナの影響で、大人数が集まるのが難しいため、会場や内容を検討し、機会を作るようにしていく</li> </ul>
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>苦情窓口を設置し、教室内に提示している</li> <li>その内容を契約時に丁寧に説明を行っている</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き苦情が出ないよう丁寧な対応を徹底する</li> <li>そういったご意見が出た場合は迅速かつ丁寧な対応をしていく</li> </ul>
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>対応は常に笑顔でする等保護者の方が話しやすい雰囲気づくりに努めている</li> <li>個人情報の取り扱い・管理には細心の注意を払って対応している</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、保護者の方が接しやすい雰囲気づくりに努めていく</li> </ul>
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>行事の内容はブログを通じて発信している</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も子どもの行事での様子が伝わるよう、ブログなどで発信していく</li> <li>ブログは、イベントの内容だけでなく、保護者支援等の内容のものも充実させていく</li> </ul>
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>契約時に同意書にサインをもらっている。</li> <li>職員への個人情報の取り扱い方の周知を徹底している</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も個人情報の管理を徹底していく</li> </ul>
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>各マニュアルを策定しているが、周知が不十分</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電話等で細かく説明があるので、安心している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難訓練を行った際などに、そういったマニュアルに基づいて行っていることも、ブログなどを通じて発信していく</li> </ul>
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難訓練は少なくとも半年に1回を目標にしている</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も少なくとも半年に1度は行っていく</li> <li>火災時の通報訓練も行っていく</li> <li>また、行った際にはブログや連絡帳で発信していく</li> </ul>
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修に参加し、スタッフで情報共有している</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>今後もそういった研修会を定期的に取り入れていき、スタッフの意識を高め、虐待防止に取り組んでいく</li> </ul>
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在の所、身体拘束が必要な子どもがいない</li> <li>パニックになった際などには別室でのクールダウン等に対応している</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>今後、身体拘束の必要性がある子どもを受け入れる際に事前説明と了解、またその記録を徹底していく</li> </ul>
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象の子どもへは、おやつ提供に配慮している</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>今後もそういった子供を受け入れる際には適切な対応をしていく</li> </ul>
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>報告書を作成し、事業所内で共有している</li> <li>それについてのスタッフ間での話し合いをし、気を付けるべきことを確認している</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も報告書の作成を徹底していくとともに、ヒヤリハットが発生しない環境整備や支援を継続していく</li> </ul>